

令和3年12月13日

チーム代表者様

広島県小学生バレーボール連盟
会長 後藤 尚史
呉小学生バレーボール連盟
会長 佐々木 博康

第45回広島ジュニアバレーボール大会における
新型コロナウイルス感染予防対策について（お願い）

コロナ禍における大会開催にあたり、選手が安心してプレーできる環境を保障し、選手ならびに大会関係者の健康と安全を守るために、次の通り感染予防対策を行います。チーム関係者に周知するとともに、ご協力をお願いします。体調不良の場合や、大会前2週間以内に感染が疑われる者との接触があった場合など、感染の疑いが考えられる場合は、大会への参加をご遠慮ください。また、感染予防対策への協力が得られない場合は、参加をお断りすることがあります。なお、今後の感染状況によっては、大会の延期や中止の判断をする場合があることを申し添えます。

記

1 基本方針

広島県小学生バレーボール連盟が作成している「大会等開催に向けたガイドライン（新型コロナウイルス感染対策）」に基づき対応します。

- ◆ 三密の状況をつくらない。
- ◆ 試合中の選手以外はマスクを着用する。
- ◆ 大会中のソーシャルディスタンス（1m以上）を確保する。
- ◆ 大会関係者が、感染者になったとしても誹謗中傷は許さない。

2 大会まで

(1) 申し込み

- ①主催者が示す新型コロナウイルス感染予防対策に同意する。
- ②大会参加者名簿を提出する。
- ③大会2週間前から、日々の健康チェックを行い、「健康チェックシート」に記録する。

(2) 大会組み合わせ

- ①大会組み合わせは、主管者にて行う。

3 大会当日

(1) 受付

- ①受付時間を指定するので、時間を厳守する。
 - ②チームの代表 1 名は、来館者全員の「健康チェックシート」を持って受付を行う。それ以外の者は、受付が終わるまで館外で待機する。
- (2) 入場
- ①受け付け終了後、全員がそろって入館し、非接触体温計で検温する。
(37.5℃以上は入館不可。)
- (3) 監督会議と開会式
- ①監督会議は、監督 1 名のみの参加とする。
 - ②開会式は館内放送のみで行い、観覧席で参加する。(または、実施しない。)
 - ③選手以外の入場者は、部外者と識別するために配付されたリストバンドを着用する。
- (4) ウォーミングアップと試合
- ①指示があるまで観覧席で待機する。
 - ②ウォーミングアップは、決められた時間に決められた場所で行う。
 - ③試合に出る選手のみ、試合中マスクを外すことができる。
 - ④大きな声を出してのかけ声や指示は控える。選手はネット越しに、相手コートに向かって発声しない。
 - ⑤コートチェンジは行わない。
 - ⑥試合中、選手同士のハイタッチなどの身体接触を控える。
 - ⑦試合前後の握手はせず、挨拶はエンドラインでの礼のみとする。
 - ⑧タオル・給水ボトル・アイシングバックなどは共用しない。
 - ⑨チームは、除菌シートや消毒液などを持ち込み、試合終了後はベンチの消毒を行って退出する。
- (5) 審判
- ①線審用のラインフラッグは、チームで持参したものを使用する。
 - ②記録用の筆記用具もチームで持参する。
 - ③主審・副審は、笛の上にマスクを着用して行う。
 - ④ボールは、セット毎に審判が消毒する。
 - ⑤試合終了後、審判は、テーブルや得点板等を消毒して退出する。
- (6) 応援
- ①観覧席の所定の場所から応援する。
 - ②声を出しての応援を控える。
- (7) トイレ
- ①順番を待つときは間隔を保って待つ。
 - ②石けんを使って 30 秒の丁寧な手洗いを心がける。
- (8) 食事
- ①よく手を洗った後、観覧席の所定の場所で食べる。

②食事中は、会話をしない。

(9) 表彰

①試合終了後、コートで表彰を行う。

(10) 退出

①試合や審判が終わったチームは、速やかに退館する。

②使用した観覧席は、チームが持参した除菌シートや消毒液で拭き取り消毒する。

③チームが出したゴミはすべて持ち帰る。

4 大会後

大会終了後2週間以内に、大会に参加した者の感染がわかった場合は、速やかに大会の感染対策責任者に連絡すること。

感染対策責任者（呉小バ連副会長）渡辺高久 携帯電話090-2290-4554